民報
あばしり
NO.1245
12月1日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL 四三-四四五八
F 四三-四四五七

津波、大雨が心配、避難路を

11月、日本共産党北地区後援会は緑町にて「つどい」を開き、地区の要望を聞きました。

平成4年の台風17号では浸水した緑町地区、津波ハザードマップでは浸水する地域となっています。

参加者からは、「前回の津波警報が出た時に向陽への坂が渋滞となり、避難することができなかった。緑町から向陽ヶ丘への避難階段が必要だ。つづら折りで休む場所を作ってほしい。」「以前、大雨と満潮が重なり、波しぶきが発生し、網走川の水位が上がった。護岸の高さは大丈夫なのか。」など要望や質問が出されました。

「国会かけある記」
強まる野党の共同

11月25日　参議院議員　岩渕友

季節は本格的な冬に向かっていますが、国会は「桜」の話題で持ちきりです。事実を明らかにしてきた野党追及チームは、メンバーを増員して「追及本部」に格上げされることになりました。野党が一緒にチラシを作成したことも画期的です。首相が出席する予算委員会で真相を明らかにしなくてはなりません。

桜を見る会の追及はさまざまなところに変化を起こしています。田村智子参院議員がメディアの人たちからこんな話をされたと言います。「自分たちは桜を見る会に参加していたのに、これを異常だと思わなかった。政権チェックが緩んでいたのではないかと反省している」と。報道が止むことなく行われている理由はここにもあるのかもしれません。

省庁も省庁分の招待者リストを明らかにしました。政治の私物化に関与させられていることへの怒りがあるのではないでしょうか。

野党の共同は消費税増税をめぐっても広がりつつあります。国会で「消費税5％への緊急減税で経済を立て直す・各界懇談会」が行われ、参加しました。消費税増税がいかに生活と生業に深刻な打撃を与えているか、参加された方々の発言で明らかになりました。嬉しかったのは、立憲民主党から初鹿衆院議員が、れいわ新選組から舩後参院議員が参加しあいさつしてくれたこと。

増税を押しつける一方で税金を私物化する安倍政権に怒りの声が次々寄せられています。安倍政治を終わらせて新しい政治の実現を。私も力を尽くします。

松浦さとし奮戦メモ！

安倍首相は国政の私物化を何度繰り返すのだろうか。そして、またもや安倍首相への官僚による忖度です。

「資料は廃棄したので、お答えは控えさせていただきます。」「個人のプライバシーに関わることなので、お答えは控えさせていただきます。」という答弁。森友学園、加計学園の疑惑でも、公文書の隠ぺい・改ざん・廃棄などを行った安倍政権。今回の「桜を見る会」の疑惑でも森・加計疑惑と同様の答弁が繰り返されましたが、国民には、それがウソであると透けて見えてきています。「桜を見る会」は、地域で長年活動してきた方たちの功績・功労をねぎらうための会なのです。安倍首相は、この方たちのための「桜を見る会」を悪用して、安倍首相の後援会や閣僚、自民党・公明党議員の関係者を招待して公費を使って接待していたのです。

いくつかの疑惑として、国会での虚偽答弁をはじめ、公職選挙法違反、財政法違反、贈収賄、有権者への利益供与等々があり、疑惑は尽きません。安倍首相には辞めていただくしかありませんね。

村ちゃんが駆ける

日体大附属高等支援学校ができて3年となり、いよいよ来春には3年生が卒業する。網走市での障がい者が働く場所は、親や企業の努力により増えてきているが、まだまだ足りないのではないか。自立できる所得となっているのだろうか。

厚生労働省は「障害のある人が障害のない人と同様、その能力と適性に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができるような社会の実現を目指し、障害のある人の雇用対策を総合的に推進する」という。

日本共産党は国や自治体、民間企業の法定雇用率を守ること。最低賃金法の障害者除外規定を無くすこと。事業者は障がい者のはたらく権利を保障し、障がいの特性に配慮した職場環境の改善などを求めています。

だれもが差別されないで、生き生きと暮らせる社会をめざして頑張ります。

流氷

壁を這うツタの紅葉も散りました。自分の力で立ち上がれず地面をはったり、他の植物等に巻き付いてよじ登る植物を「つる植物」と言います。ツタもこの仲間です。上り方は、節から先端が吸盤になった巻きひげを伸ばし樹幹や岩盤、壁などをよじ登ります。上り方が、鉤（かぎ）や巻きひげによって支えられるものを登攀（とうはん）植物といいます。ノイバラ・カラハナソウ・トウ【鉤・棘】エンドウ・ブドウ・サルトリイバラ【巻きひげ】などです。また、茎自身が他物に巻き付くものを纏繞（てんじょう）植物と言います。例を挙げると、フジ・ツルウメモドキ・マタタビ・サルナシ・ミツバアケビなどです。茎の先端がまっすぐに伸びずに回転しながら成長する結果、他の物に巻き付くことができるのです。▼ツル植物は他の植物に絡みつき、これを覆って茂るのでヤブガラシやクズのように農作物や樹木に被害を与えるものも多いが、種々の細工物に利用されるものもあります。例えば、ヤシ科植物のトウ類は、籐細工として椅子・テーブル・バスケットなどに加工し、ミツバアケビのツルもバスケットや土瓶のつるなどに使われます。

博物館友の会会員　小森